

須賀川市立第三中学校のホームページへようこそ

新型コロナウイルス感染拡大の影響が懸念されましたが、4月6日に無事「入学式」を挙行することができ、1年生78名、2年生113名、3年生92名の全校生283名で令和4年度の教育活動をスタートさせました。

全世界を巻き込んだコロナ禍は、子どもたちを取り巻く環境を大きく変化させてしまいましたが、反面、新たな生活様式の中で、子どもたちは、自主性と人への思いやりの心を確実に学び取ってくれていると確信しています。

今年度も昨年度に引き続き、感染対策をしっかりと行いながら、今できることに最大限取り組んで参りたいと考えています。

学校経営の理念

学校経営の理念は、『子どもたち一人一人がもつ能力や可能性を引き出し、子どもたちの夢の実現に向けた教育活動を実践する』ことであり、そのために、子どもが主体的に取り組めるような様々な工夫（しかけ）を凝らし、成果のみにとらわれることなく、プロセスをしっかりと認めながら、子どもたち一人一人を大切に作る学校をつくっていききたいと考えております。

令和4年度テーマ「きづき 考え 実行する」

本校と隣接する須賀川三小の両校は、青少年赤十字（JRC）福島県支部から「令和4年度～令和6年度研究推進校」の指定を受けました。これから3年間、子ども達の健全育成を目指して、両校で連携しながら様々な実践を行っていきます。そのため、今年度のテーマをJRCの態度目標である「きづき 考え 実行する」に設定しました。

子ども達が生きていくこれからの社会は、「自分の考え」をしっかりと持って、他者と協力し合いながら、「自分に何ができるのか」を考えて、それを実行に移すことが大切になってきます。そのためにも、授業や部活動、学校行事などを通して、子どもたち一人一人が物事をきちんと自分のこととして考え、他と協同して行動できるよう、教職員一同が子どもたちに寄り添い、能力や可能性を引き出す支援をしていきます。

令和4年度重点目標

本校の教育目標

【自分づくり】社会に目を開き、「なりたい自分」の姿を描き実現しようとする人

- 創造 「自ら考え、表現できる人」 ○ 共生 「仲間とともに高め合える人」
- 健康 「心身ともにたくましい人」

を具現化するため、今年度も以下の4つの資質・能力の育成に努めていきます。

- 友達に考えを伝え、協同で問題を解決できる力
- 所属集団の目標達成を目指し、自分の役割を果たそうとする態度
- 心身の健康を理解し、進んで維持・向上を図れる力
- 情報の発信・受信能力

これからも、このホームページを通して、学校の様子や生徒たちの活躍をお伝えして参ります。今後とも本校教育へのご支援並びにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年4月1日 第20代校長 岡部 昭彦